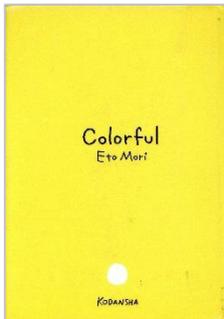




VOICE

図書館でボランティア活動をしてくれた中高生のみなさんに、オススメの一冊を紹介していただきました！

(編集にあたり、内容は変えずに一部修正しています。)



『カラフル』 森 絵都／作 理論社

一度死んだ「ぼく」が他人の体にホームステイをし、数々の問題を解決していく話です。その「ぼく」がホームステイをした体の家族は、一人一人が問題を抱えています。話のフィナーレでは「僕」が誰かと感動の別れをします。ぜひ、読んでみてください。

(ペンネーム：はるなさん)



『レ・ミゼラブル ああ無情』

ビクトル・ユーゴー／作 塚原 亮一／訳 講談社

子どもたちのため、たった一切れのパンを盗んだために十九年もの長い間、牢屋ぐらしだったジャン・バルジャン。そんなジャンをミリエル司教は仲間としてあたたかくむかえてくれました。愛にあふれている、とても感動する作品です。ぜひ読んでみてください！

(ペンネーム：バボちゃんさん)

●ご感想、本の紹介など、中央図書館のヤングアダルトコーナーに設置されているポスト、または下記のメールアドレスにお寄せください。メール投稿の際は件名にYOUNG=JIN、本文に年齢・ペンネームを明記してください。

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

編集・発行 長岡市立中央図書館 (0258-32-0658)

図書館HP <http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

図書館メールアドレス lib@city.nagaoka.niigata.jp

スマホ
サイト→



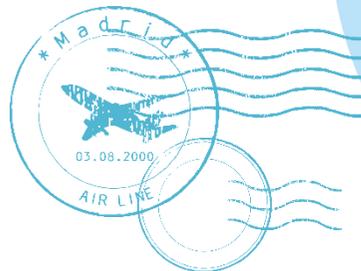
←携帯
サイト

WE'RE

YOUNG-JIN

長岡市立中央図書館ヤングアダルト News

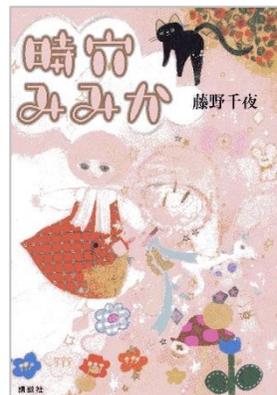
Vol.43 2016.5



旅

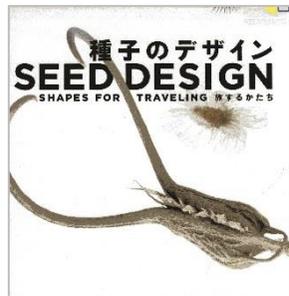
本をめくれば、そこにはいつも別の世界が広がっています。そこで今回は、旅に出る物語や冒険家のエッセイなどをご紹介します。

さあ、図書館で本の世界を旅しましょう！



『時穴みみか』 藤野 千夜／著 講談社

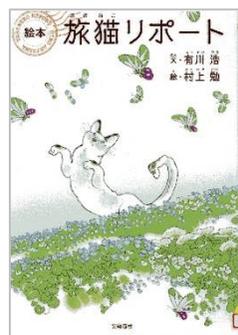
大森美々加は、ママ（バツイチ独身）と二人暮らしの小学6年生。ある日、学校からの帰り道に時空を超えて昭和49年の世界へトリップしてしまいます。リカちゃん人形、黒電話、NHKの連想ゲーム……。知らないけれど懐かしい、そんな「ちょっと昔」の旅で、美々加が見つけたものは何だったのでしょうか。



『種子のデザイン 旅するかたち』

岡本 素治／監修 佐治 康生／撮影 INAX 出版

植物は動かない？いいえ、種が旅をするんです！
例えばタンポポの種には綿毛のパラシュートがあり、風によって遠くへ移動します。子孫を残すために、風、動物、虫、海流・・・さまざまなものを利用する植物の世界。そして驚きの造形美をご覧ください。



絵本『旅猫レポート』有川 浩／著 文藝春秋

ぼくはオス猫。名前はナナ。飼い主サトルと、これから最後の旅にでる。コースケ、チャトラン、ヨシミネ・・・旅の途中、ふたりはサトルの友だちや犬猫と出会います。それぞれの哀しい運命と絆。心が通い合う喜びが、あたたかく胸にせまってきます。



『いま生きているという冒険』

石川 直樹／著 理論社

さまざまな場所を冒険している石川さんが、旅を始めるきっかけになったインド一人旅や、北極から南極への旅など、みなさんと同じ年頃か少し上の頃に出かけた旅のお話。どの旅も冒険と呼べるくらい過酷な旅で、旅を重ねるごとにたくましくなっていく石川さんの姿がカッコイイ！！



『幸福トラベラー』山本 幸久／著 ポプラ社

新聞部の僕は、取材のため上野公園に出かけた。そこで、修学旅行で来ていた少女と出会いひよんなことから一緒に巡ることに。公園内のいろいろな場所を見ていくうちに心がドキドキ・・・。上野公園を巡るガイドとしても楽しめますよ。



『切手で旅するヨーロッパ』

山田 庸子／著 ピエ・ブックス

ヨーロッパで発行されている切手を集めた本。グリム童話の「あかずきん」や「ヘンゼルとグレーテル」などお話をモチーフにしたものや、クリスマスの風景を描いたものなど、可愛いデザインがいっぱいです。

